
CAICA 中期経営計画

I T 金融の更なる深化に向けて
(2021年10月期～2023年10月期)

2020年10月9日



Copyright(c) 2020 by CAICA Inc.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of CAICA Inc.
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

当社グループは、50年の金融機関向けシステム構築の知見を基に2016年にフィンテック戦略を掲げ、ブロックチェーンや暗号資産に注力し、その後eワラント証券や、暗号資産交換所を配下に擁するフィスコデジタルアセットグループをグループ化し証券や暗号資産分野への進出を果たしております。

この度のライツオフリングにより株主の皆様に行使して頂いた貴重な資金を原資とし、CAICA中期経営計画「IT金融の更なる深化に向けて」を策定いたしました。

早期復配に向け、当社グループ役職員一丸となり、計画達成に向けて行動し、IT金融企業として成長を加速してまいります。

新株予約権の権利行使結果

権利行使された本新株予約権の個数	274,212,191個
本新株予約権の発行総数に対する権利行使割合	76.0%
権利行使により交付された株式数	274,212,191株
払込総額	4,387,395,056円

行使期限終了日（2020年9月16日） 発行済株式総数及び資本金の額

発行済株式総数	635,070,646株
資本金の額	3,193,697,528円

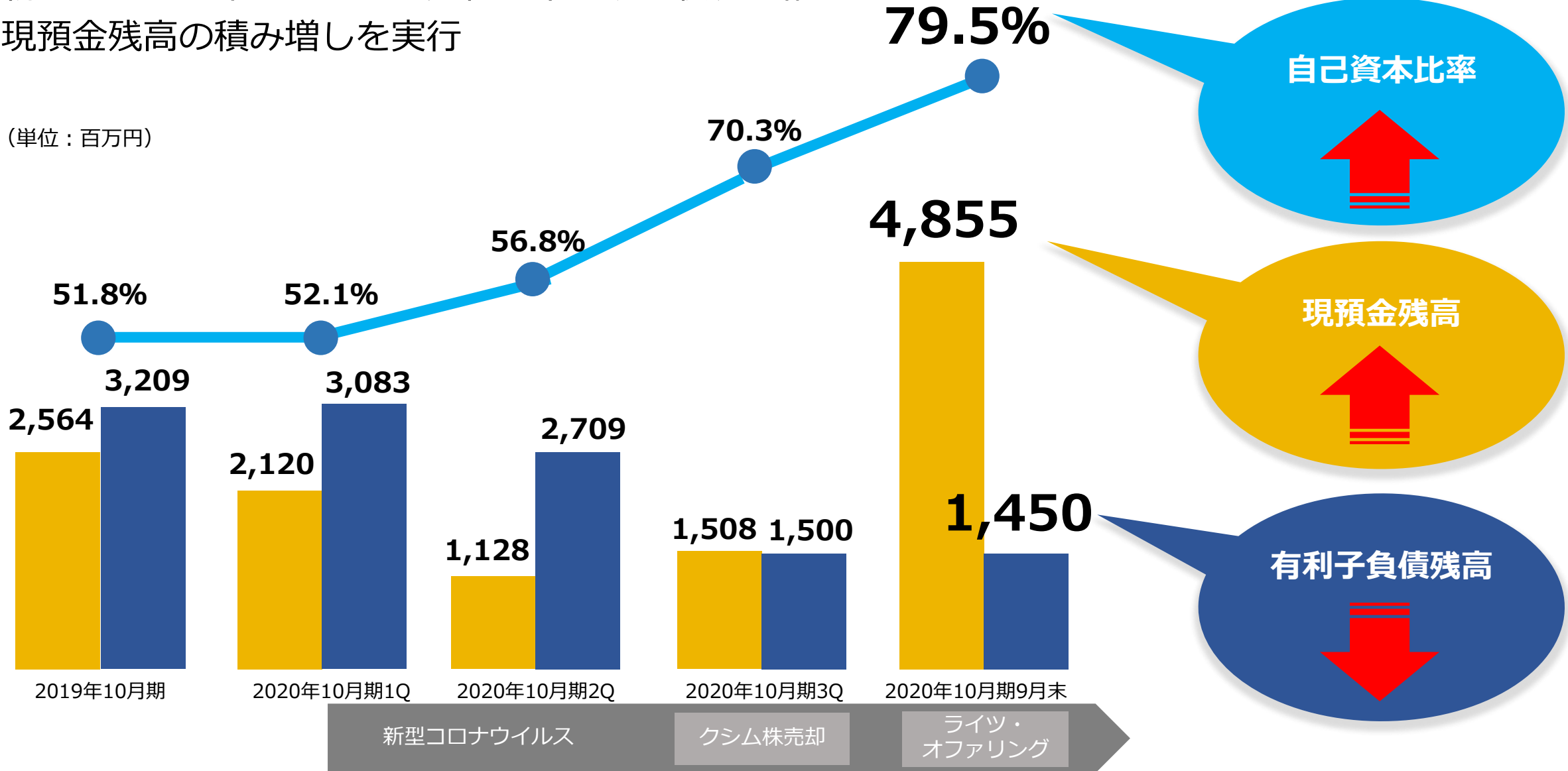
資金使途

(単位：百万円)

具体的な使途	金額	支出予定時期
eフロント証券の増資引受けにかかる資金	500	2020年10月
運転資金（教育、採用、人件費）	200	2020年8月～ 2022年1月
株式会社三井住友銀行からの当社子会社の社債の弁済	41	2020年12月～ 2021年6月
株式会社三井住友銀行からの当社子会社社債の弁済	102	2020年9月～ 2021年3月
株式会社千葉銀行をエージェントとする協調融資（シンジケートローン）からの当社子会社借入金の弁済	188	2020年11月～ 2021年5月
株式会社三井住友銀行からの当社子会社の借入金の弁済	61	2020年11月～ 2021年5月
M & A 資金	1,682	2021年2月～ 2021年10月
運転資金	1,152	未定
株式会社フィスコデジタルアセットグループの発行する無担保普通社債の引受	400	2020年9月

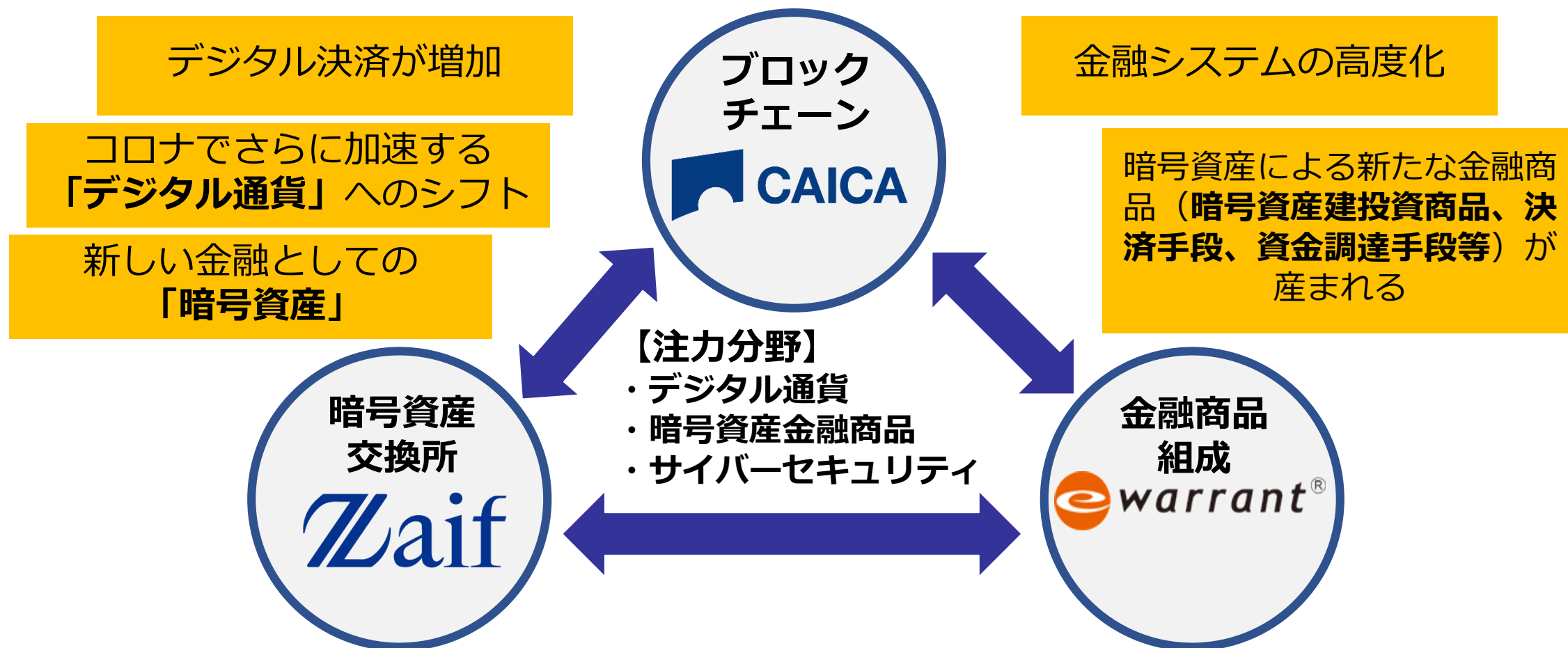
新型コロナウイルスによる先行き不透明な状況に備え、
現預金残高の積み増しを実行

(単位：百万円)



グループ戦略（CAICA事業方針）

新しい金融資産である暗号資産、普及拡大が間近に迫ったブロックチェーン、コロナ禍によりさらに加速するデジタル化。金融と社会が大きく変貌するパラダイムシフトに合致した企業へ



グループ戦略（Z a i fグループとの連携）

CAICAグループとZ a i fグループ相互の事業連携強化を通じてそれぞれの事業を拡大シナジー効果を最大化させるため、人的交流および資金協力を含め関係性を強化

- 豊富な実績
クラウド技術
- ・金融システム構築に関する豊富な実績
 - ・サイバーセキュリティやクラウド技術
 - ・第一種金融商品取引業
 - ・金融商品組成のノウハウ
 - ・フィンテック・デジタル化に関する知見

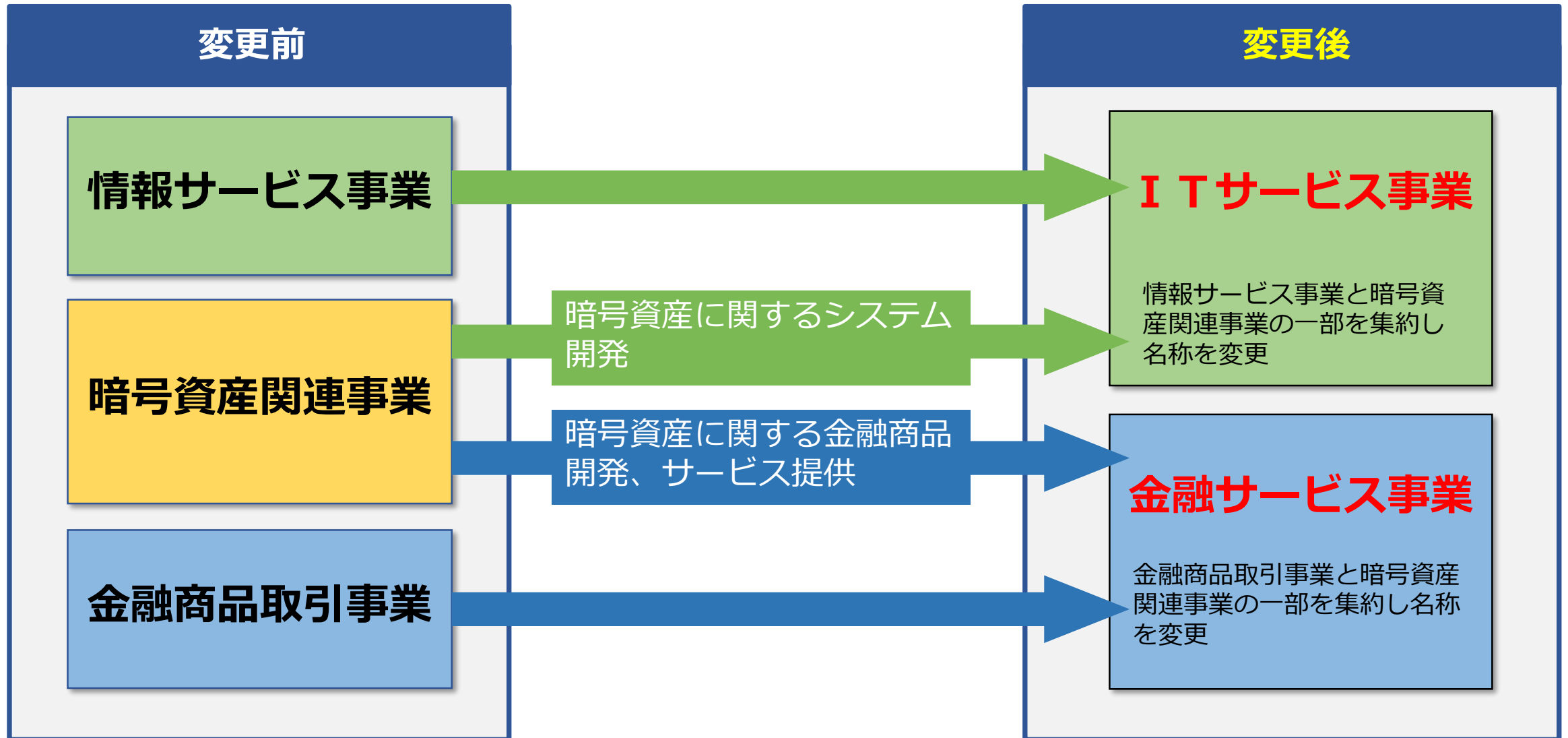


- ・暗号資産交換業者登録
- ・40万口座の顧客基盤
- ・Z a i fの高い知名度
- ・暗号資産に関するノウハウ

シナジー効果

- ・暗号資産交換所システムの新機能共同開発
- ・暗号資産に関連した新商品の共同商品開発
- ・40万口座の顧客基盤を活用したマーケティング
- ・Z a i fブランドを活用した新規取引先開拓
- ・高度なサイバーセキュリティの運用ノウハウを当社サービスへ展開
- ・暗号資産交換所システム（crypt base C）の販売
- ・サイバーセキュリティ分野のサービス強化

報告セグメントを2021年10月期からITサービス事業、金融サービス事業へ集約



CAICAグループ成長に向けての重点施策

ITサービス事業

自社製品（CAICAブランド）の販売を強化し ソリューション型商品の比率を上げる

- ・暗号資産交換所パッケージシステム「crypto base C（クリプトベース・シー）」
- ・ブロックチェーンコミュニケーションサービス「Gu-Gu（グー・グー）」
- ・SI事業者向け業務効率化プラットフォーム

金融サービス事業

暗号資産関連商品の販売強化による売上拡大

➡ '23年10月期、売上高28億円を達成

M & A

M & Aによるスケールアップ

➡ '23年10月期、売上高26億円を達成

1年目

2年目

3年目

ITサービス事業

自社製品販売強化

SI事業者向けPF

Gu-Gu販売強化

セキュリティソリューション販売強化

ブロックチェーン
新サービス①

ブロックチェーン
新サービス②

金融サービス事業

暗号資産関連
サービス売上拡大

暗号資産CFD
サービス

暗号資産関連の
新商品販売①

暗号資産関連の
新商品販売②

全社

M&Aによる
スケールアップ

事業拡大1社
ベンチャー系1社

事業拡大1社
ベンチャー系1社

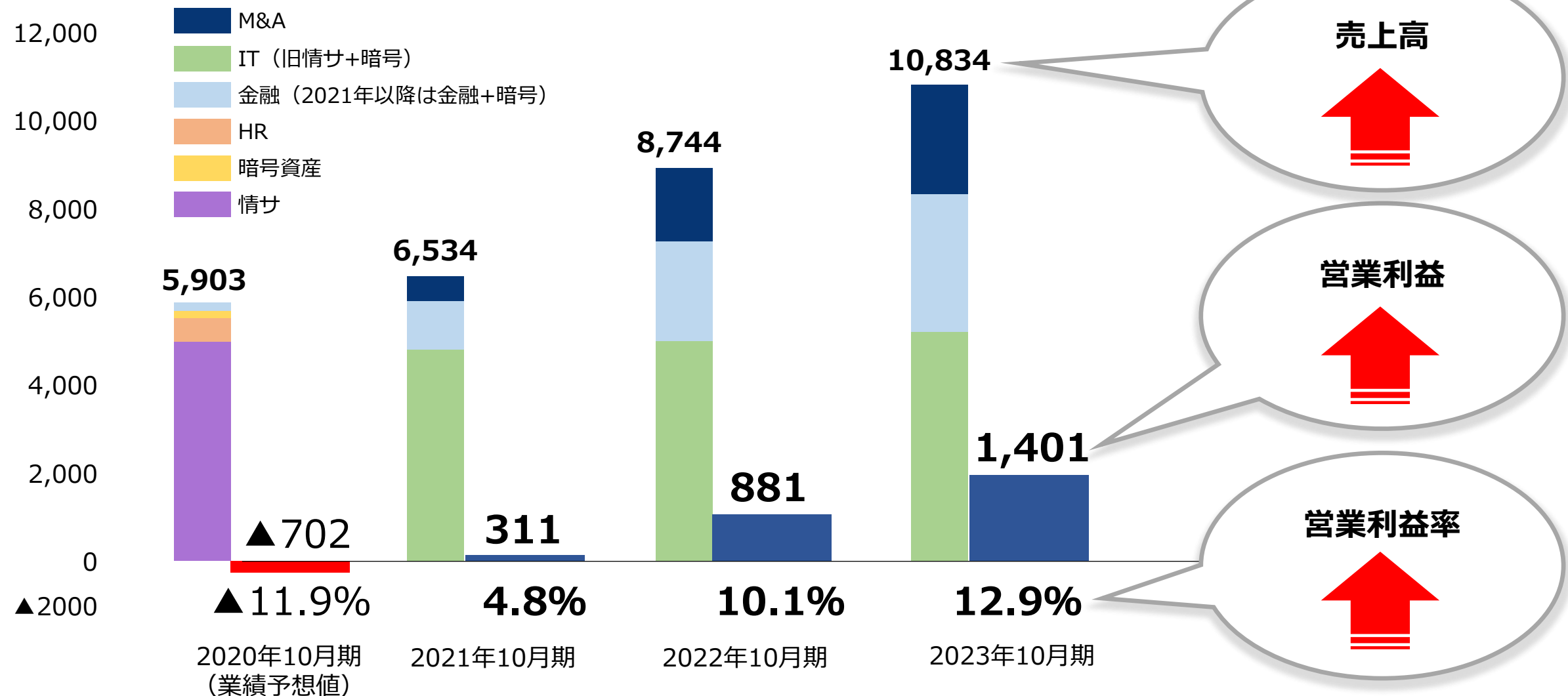
事業拡大1社
ベンチャー系1社

事業拡大売上5億円規模、ベンチャー系売上500百万円規模
を年間1社ずつ買収を実行

数値目標（連結）

2021年10月期から営業利益の黒字転換化。営業利益率を高水準に引き上げる

(単位：百万円)



2030年に向けた将来ビジョンを策定

デジタル金融の 世界を切り拓く

あらゆる事がデジタル化される未来。中央集権型から分散型（DeFi）へ、業界構造そのものが大きく変革していく金融。CAICAはその変革者になります。

2030年度の売上目標 **売上500億円**

参考資料

ブロックチェーンを使った、SI事業者向けの業務効率化を支援するプラットフォーム開発に着手



参考資料：セキュリティ関連ソリューション

急拡大するテレワーク需要だけでなく、デジタル化の時代に必須となるセキュリティソリューションを提供しております



テレワーク・クイックサービス



セキュリティ・
コンサルティングサービス

「crypto base C (クリプトベース・シー)」の機能強化

取引メニューの拡張、AML対応強化などの機能追加・機能強化版となります

crypto base C
(クリプトベース・シー)

- 交換業者機能**
 - 顧客管理
 - ウォレット機能
 - KYC
 - AML
 - 各種帳票出力
- 利用者メニュー**
 - 板取引/販売所
 - 現物/レバレッジ
 - 高機能チャート
 - 多言語対応 (日本語/英語)
 - 二段階認証
 - 取引報告書
 - 各種アラート機能
- 各種サポート**
 - 24/365システム監視
 - ハードフォーク対応
 - 取扱通貨追加対応
 - 新サービス開発支援
 - 各種法令対応

画面参考例：Zaif Exchange

対応通貨



BTC

BCH



NEM



ETH



MONA

その他
各種
トークン

本資料の取り扱いについて

●本資料は、株式会社CAICA（以下、当社）の今後の中期経営計画に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

●本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

